

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年11月2日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12320
政策名(章)	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当部	保健福祉部
基本施策名(節名)	第3節 市民医療の充実	評価担当課	地域医療課
施策名	救急医療体制の充実	課長名	近藤 敏男

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

増加する救急医療患者に的確に対応するため、救急医療体制の整備充実を図る。特に、初期救急から三次救急までの総合的な救急医療体制の確立を目指す。  
 休日・深夜の救急患者に迅速に対応できるよう初期救急医療機関であるメディカルセンター、二次救急医療機関である市内病院、及び三次救急医療機関である救命救急センター各々の機能の充実を図っているほか、救急医療情報センターでの電話照会、休日急患歯科事業及び調剤薬局事業を実施している。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		1,004,130	
人件費		15,134	
市民一人あたりの事業費	3,243	1,528	
合計	1,997,476	1,019,264	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

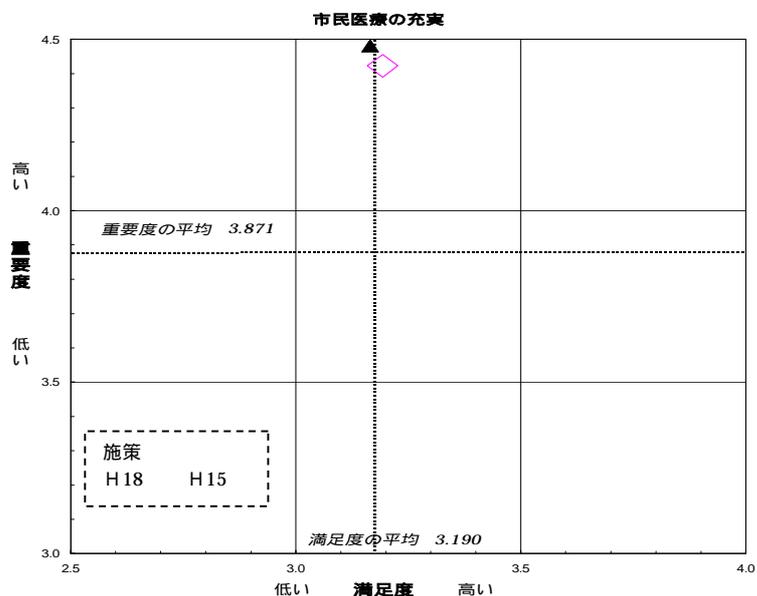
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	メディカルセンター等の開設率(%)	開設日 / 開設予定日 × 100	100%	14年度以前
指標2				
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	365 / 365	19	100%	21	100%	救急患者の受入機関の開設率を目標とする。市民が急病になった時の受入体制を確保することが目的である。
達成率	100%					
指標2						
達成率	#DIV/0! %					
指標3						
達成率	#DIV/0! %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

#### 4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.193で51施策の中で24番目。  
 重要度は4.422で1番目である。  
 改善要望度は0.3875で3番目である。  
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、20、40歳代で低くなっている。  
 重要度は30歳代でもっとも高い。また、全ての年代で上位10施策に入っている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、70歳以上で前回調査より大幅に上がり、50歳代で下がっている。  
 重要度の順位では、大きな違いはみられない。



#### 5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	2 1	内科・外科・小児科等について、休日・夜間の診療体制を確保し、事業運営を着実に実施している。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	2 1	満足度及び重要度ともに平均を上回っており、特に重要度は高い位置にある。	
合計		10	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	医師等の確保の困難性などから、救急医療体制の維持・確保が困難になりつつあるため、今後、体制の見直しをする必要がある。
解決策	検討協議会を開催し、本市の救急医療体制の問題やあり方について協議し、体制の整備を進めて行く。

#### 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標だけでは、施策目的の成果の測定には不足しており、指標の設定について更に検討が必要である。また、有効性の評価は甘いと考えられる。	2次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

重要度に見合った満足度にするために、不満の原因を分析し、具体的な解決策を検討すること。 市民にとって身近で重要な施策であることから、市民満足度を上げるために市民にわかりやすい指標を掲げ、実施事業に対する成果が測れるような指標を設定すること。 不満の原因分析の結果を事業の優先順位付けに活かすこと。	3次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



